

# 財団法人仏教伝道協会

## 平成20年度事業報告書

平成20年4月1日より平成21年3月31日に至る財団法人仏教伝道協会の事業ならびに重要事項は次の通りである。(各項目番号は寄附行為に定めた事業の番号である。)

### 1. 事業一：仏教聖典の現代語訳、外国語訳ならびにそれらの刊行

#### (1) 「仏教聖典」各国語訳とその出版に関する事項

人類の平和を目指し全世界に「仏教思想」を伝えるべく、「仏教聖典」の翻訳を進めている。本年度は聖典を現代に即した内容にするための改訂を進め、ドイツ語、スペイン語、中国語(簡体字)を改訂。引き続きフランス語、イタリア語等主要言語の改訂を進めている。また、ブルガリア語仏教聖典を翻訳中である。

#### (2) 「仏教聖典」の普及に関する事項

「仏教聖典」を世界の主要ホテルの客室に寄贈する運動は、国内では新規ホテル、病院約40軒を加え約17,000冊寄贈補充した。また海外では新たに約240軒のホテルより申し込みを受け62か国のホテル等に約70,000冊を寄贈し、内外合せて約11,500軒のホテル133万室に至った。また成田空港エグゼクティブラウンジに仏教聖典専用書棚を設置した。

教育や伝道教材および入学ならびに卒業記念品として「仏教聖典」を頒布した。全国の寺院幼稚園、保育園、高等学校、大学で「和文仏教聖典」を約9,500冊、「和英対照仏教聖典」を約11,000冊活用していただいた。

#### (3) 「大蔵経」の英訳編集とその刊行に関する事項

仏教思想をさらに多くの人びとに弘めるべく、普及に努めている「仏教聖典」の原典である「大蔵経」の英訳事業は、139典籍のうち43典籍が翻訳進行中で、その他の96典籍は部分訳を含めて、すでに受領した。受領典籍のうち67典籍は、日本の英訳大蔵経編集委員会と米国バークレー市の仏教翻訳研究センターに設置の英訳大蔵経出版委員会との協力体制のもと、英訳大蔵経として出版、本年度は「正法眼蔵(2)~(4)」を刊行し、既に39巻が出版された。

### 2. 事業二：仏教講演会、仏教聖典講座等の開催

#### (1) 世界の主要大学に仏教講座開設に関する事項

学問や教育の面から仏教を伝えるべく、海外15の大学に基金を設け、本年度は次の通り沼田仏教講座を開講した。

開講学校名	教授名	講座名
カリフォルニア大学 バークレー校	James Robson 教授 (ハーバード大学)	「中国宗教から見る中国仏教書」 公開講座：「再生の探求：東アジア仏教における教化と経済の救済」
ハーバード大学	船山 徹 教授 (京都大学 人文科学研究所)	「中国仏教とインド仏教における聖人」
シカゴ大学	Matthew Kapstein 教授 (シカゴ大学)	(1) 「ハルルビの仏教」 (2) 「仏教哲学書読解」 (3) 「現代宗教学論」
スミス大学	Jamie Hubbard 教授 (スミス大学)	(1) 「幸福 501: 仏教西洋心理学の観点から見た幸福」 (2) 「現代世界における日本仏教」 国際会議：「エンゴルム仏教」
ハワイ大学	08 - 09 年度はプログラム無し	
米国仏教大学院	Richard K. Payne 教授 (米国仏教大学院)	「宗教学における諸問題」 Roger Corless 博士を追悼して書籍出版
カリフォルニア大学 ロサンゼルス校	Terusaki 日本仏教センターと UCLA 仏教学協賛	公開講座：「仏教美術の発展」
	James Robson 教授 (ハーバード大学)	公開講座：「アジアのイメージ Inside-Out: 東アジアの彫像から何を学べるか」
	Imre Hamar 教授 (イシュトヴァン・ロランド大学)	公開講座：「Huayun 仏教における唯識論の解釈」
	Kate Crosby 教授 (ロンドン大学)	公開講座：「私たちの知らないテラワダ： テラワダ 仏教における忘れられた密教」
	Donald Lopez 教授 (ミシガン大学)	公開講座：「仏教と科学：途方に暮れないためのガイド」
トロント大学	Dina Bangdel 教授 (パージニア・コモンウェルス大学)	講読：「儀礼に見られる芸術：初ルム仏教における曼荼羅の伝統」 公開講座：「初ルム仏教の肖像学：仏教宇宙の表現」
	Johan Elverskog 教授 (南メソヂイスト大学)	公開講座：「シルクロード上での仏教とイスラム教」 講読：「9 世紀から 12 世紀における仏教徒とイスラム教徒の交流」
	Nicolas Sihle 教授 (パージニア大学)	公開講座：「宗教研究分野の構造に対して長びく問題： 仏教と文化人類学の比較プロジェクトへの論評」 講読：「ロカグロバルの接点で書かれた書： ロカ密教儀礼マニュアル集における文化人類学的考察」
	Sarah Jacoby 教授 (コロンビア大学) Antonio Terrone 教授 (ライオン大学)	講読：「独身者になるか、ならないか： 埋蔵宝典発掘者 Se ra mkha' gro's に習った道徳と性生活」
	Sarah Jacoby 教授 (コロンビア大学)	公開講座：「愛の啓示と 20 世紀初期のフット女性の生活」
	Antonio Terrone 教授 (ライオン大学)	公開講座：「必要なのはノットソコ：フット研究分野における フット資料センターとそのデジタル化の役割」
	Ronald M. Davidson 教授 (フェアフィールド大学)	公開講座：「大乘儀礼から仏教タラの始まりへの変遷」 講読：「陀羅尼文学の研究」
マギル大学	Miriam Leveting 教授 (マギル大学)	(1) 「唐から現在にかけての臨済禅の発展」 公開講座：「なぜ観世音菩薩は千の腕と目が必要なのか？ 禅仏教における観世音菩薩の位置」
		08 - 09 年度はプログラム無し 08 年 7 月、Leslie Kawamura 教授が正式な沼田仏教講座教授に就任。

オックスフォード大学	テーマ：「チベットにおける仏教の到来」（前期）	
	Samten Karmy 教授 (パリ大学)	チベット南部の仏塔から発見された古代チベット教聖典
	武内紹人教授 (神戸市外国語大学)	(1)旧チベット研究の問題と発展 (2)10世紀帝国時代以降の旧チベット書文献
	Leonard van der Kuijp 教授 (ハーバード大学)	秘密集会タトラの歴史的記述 - 仏智と Sman[pa]zhabs -
	Matthew Kapstein 教授 (シカゴ大学・フランス高等研究院)	古代チベット王ツンゲツェンに影響を与えた 『Logic According to the Genuine Discourse』
	Henk Blezer 教授 (ライデン大学)	チベット仏教の中心と側面
	テーマ：「チベットにおける仏教の到来」（後期）	
	Harunaga Isaacson 教授 (ハンブルグ大学)	チベット語の言葉 - 仏教チベット語の歴史書の考察 -
	Deborah Klimburg-Salter 教授 (ウィーン大学)	Yeshe'shod の世界の想像 - 10世紀の仏教美術 -
	Jonathan Silk 教授 (ライデン大学)	チベット仏教文学の研究をする学生が聖書批判から何を学べるか？
Peter Verhagen 教授 (ライデン大学)	チベットにおける初期の翻訳史の考察	
Christopher Beckwith 教授 (インディアナ大学)	中央ユーラシア文化の複雑性とチベットの王 チベットにおける説一切有部の仏教アキソ哲学の紹介	
George Fitzherbert 教授 Brandon Dotson 教授 (オックスフォード大学)	「チベットの歴史」	
ロンドン大学	Johannes bronkhorst 教授 (ロザンヌ大学)	「チベットの仏教」
ハンブルグ大学	Jacob Dalton 教授 (イェール大学)	(1)「敦煌出土のチベット瞑想文献」 (2)「初期タトラ儀礼の展開」
	Helwig Schmidt-Glintzer 教授 (ヘルフォーク・アウグスト公爵図書館館長)	講読：「中国仏教文献について - 『臨濟録』の講読」
	Louis Cabaude 教授 (フランス極東学院)	(1)「タイにおける現代仏教像の発展について」 (2)「現代のタイ仏教文献に説かれる仏教と現代性」
ウィーン大学	Vincent Eltschinger 教授 (オーストリア科学アカデミー)	(1)「仏教の認識論者における宗教哲学」 講読：「梵語テキスト講読」
ライデン大学	Andrew Glass 教授 (ワシントン大学)	(1)「ガンダハラ及び北西インドにおける仏教について」 (2)「ガンダハラ及び北西インドで発見された新たな文書・碑文」

### 3. 事業四：仏教研究学生に対する奨学金の支給

#### (1) 奨学金の支給

仏教の学術振興に資するため、日本に於いて仏教研究に従事する海外からの学者・研究者または学生に対して給付する奨学金を設け、本年度はベルギー人研究者・ステファン・パウムス氏（佛教大学研究員）、イタリア人研究者・ジュリアナ・マルティニ女史（創価大学研究員）、スリランカ人研究者・デニヤウェ・パンナロカ師（九州大学博士課程）に支給した。

#### 4. 事業五：仏教音楽の現代化とその普及

##### (1) 第14回「釈尊を讃えて」仏教音楽祭開催について

平成20年11月27日午後6時半より、東京・五反田「ゆうぼうと」を会場に第14回「釈尊を讃えて」仏教音楽祭を開催。これは、「ささえあって」をテーマに、仏教音楽普及の趣旨に沿って、釈尊の説く普遍の真理を社会に向けて伝えたいとの一念から、広く一般より新曲を募集。結果223曲もの応募が寄せられ、平成20年9月19日に第一次譜面審査会を行い、その結果9作品が選考、第2次審査となる仏教音楽祭（公開演奏審査会）においてその9作品が約1,000名の来場者に披露された。小林亜星審査委員長ほか7名の審査委員による厳正なる審査の結果、第1位「君は一人じゃない」（作詞 片岡まどか 作曲 中島安敏 歌手 沢村まみ）、第2位「空の花」（作詞 さいとう大三 作曲 泉盛 望 歌手 紫 とも）、第3位「やさしさの種」（作詞・歌手 伊東教子 作曲 阿部隆人）が決定し、他の6作品も佳作として、それぞれ賞状、賞金（1位300万、2位200万、3位100万、佳作10万円）、ならびに記念品を贈呈し表彰した。また、この音楽作品を広く普及するためCD化し、各宗派本山および教務所、仏教系学校、音楽関係学校、寺院等に約3,000枚配布した。

#### 5. 事業七：内外仏教諸教派との協力交流および他宗教との協力等目的達成に必要と認める事業

##### (1) 仏教伝道文化賞の贈呈に関する事項

仏教の高揚と啓発を目指し、仏教伝道に貢献された方がたを顕彰するため、第43回仏教伝道文化賞の贈呈式を、平成21年3月12日に挙行了した。

文化賞A項（研究・論文・著述・翻訳・踏査・出版・その他）は、インド宗教文化史の研究で学術振興に寄与した功績により奈良康明師に、功労賞は仏典の英訳、日英仏教語辞典の刊行で仏教の国際化に尽くした功績により、稲垣久雄師に贈られた。

##### (2) BDK無限プロジェクト

「BDK無限プロジェクト」として、これまで膨大な時間と労力を要していた資料収集を効率化し、またさらなる仏教研究の発展への大きな貢献を目的とし、英語の仏教研究資料を世界中の誰もがインターネット上で閲覧できるようにデータベース化する新しい仏教伝道事業を展開。米国カリフォルニア州に拠点を置き、UCバークレー仏教学教授 ダンカン・ウィリアム氏と協力の上、平成20年より約10年計画でこのプロジェクトを推進している。

##### (3) ホームページリニューアルについて

平成21年4月1日に当協会公式ホームページをリニューアルした。

<http://www.bdk.or.jp/>

「仏教聖典」頒布を促進すべく、「仏教に人生を学ぶ」というコンセプトのもと、当協会活動紹介を日英両言語で作成し、タイムリーな活動報告を行える公益性を持った内容とした。

##### (4) 実践布教研究会開催について

6月4日～6月6日の2泊3日間、「布教伝道」をテーマに伝道者としてのあるべき姿を学ぶため、今回は勢至菩薩を取り上げ、全国より若い僧侶を中心に78名が参集、高野山真言宗総本山金剛峯寺を会場に第38回実践布教研究会を開催した。1日目には高野山真言宗教学部長、村上保壽先生「空海のこころ」、2日目には高野山大学教授、中村本然先生「即身成

仏義のこころ」、高野山真言宗布教研究所、米田弘仁先生「布教伝道～勢至菩薩に学ぶ～」をテーマにそれぞれ講話をいただいた。また総本山金剛峯寺内事長、柏田良辯先生より「阿字観法」を指導していただき、参加者は作法に基づき、阿字観法の実践を体験した。またさらに分科会を通じて現代の布教伝道に対する僧侶間の意見交換が行われ、宗派を越えて互いに学びを深めるとともに研鑽を積んだ。

(5) 宗教教育教材の施本刊行について

新々みちしるべシリーズ、一日一訓カレンダー「しあわせ」を刊行。カレンダー解説書 新々みちしるべ『さとり』・『しあわせ』を教化教材として刊行、全国の寺院に頒布した。

(6) 内外の宗教団体・学術団体等との交流に関する事項

仏教伝道に関する助成については、本年度は主に以下のような法人・団体に対して金額の助成を実施した。

宗教法人恵光寺奉賛会  
カリフォルニア州フレズノ別院  
東京親鸞会  
南無の会  
財団法人全国教誨師連盟  
日本印度学仏教学会

(7) 仏教伝道拠点の拡充に関する事項

仏教普及活動のための伝道拠点の維持、管理を行い、これを継続する。

6. 仏教伝道センタービル活用に関する事項

- (1) 会議室使用状況 996件  
(2) 駐車場使用状況 月極 12台